下森議員（自民議連）

平成 28 年９月 26 日
教 育 長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）県北地域におけるものづくり人材の育成について

三次市には，かつて県北唯一の工業高校である三次工業高校があり，現在は総合学科の三次青陵高校に改編されている。

総合学科において工業の流れを汲む教育課程を設けてはいるが，地元のものづくり人材を送り出す体制としては，極めて不十分と感じている。

地元企業の声を聞くと，地元でものづくり産業を支える人材の育成を求める声が大きく，教育委員会としても課題意識を持って取り組んでほしい。

地元のものづくり人材は地元で育むという観点から，県北地域に新たな工業高校を設置すべきと考えるが，教育長の所見を伺う。

（答）

三次青陵高等学校につきましては，生徒や保護者のニーズ等を踏まえ，平成８年度に，三次工業高校を普通教科及び専門教科の多様な科目の中から生徒が主体的に履修したい科目を選択できる総合学科に改編したところでございます。

現在は，工業系の科目といたしまして機械系列と電気情報系列を開設をしており，１学年で４０人が履修できる体制を整え，毎年２５人程度の生徒が，工業系の科目を履修しているところでございます。

こうした工業系の科目を履修した生徒は，毎年一定程度，地域の製造業等に就職をしており，地域のものづくり産業を支える役割を担っているものと考えております。

今後は，さらに多くの生徒が工業系の科目を選択するよう，例えば，地元ものづくり企業の協力を得ながら，実践的な実習を多く取り入れるなど，日々の教育活動を魅力あるものとするとともに，今年度から実施をしております「ものづくり人材育成日本一プロジェクト」等を通じて，県北地域におけるものづくり人材の育成に計画的・継続的に取り組んでまいりたいと考えております。

こうした取組の成果や生徒・保護者のニーズ，卒業後の進路の見通しなども踏まえ，新たな工業高校の必要性について検討してまいりたいと考えております。